

渡辺大三の小金井政策2021

【情報公開等】●「情報公開」「市民参画」「住民投票制度」は、常に日本一の水準となるよう制度の見直しを。

【新型コロナウイルス感染症対策】●ワクチン接種は不安を持つ方々に寄り添い多様かつ万全な体制構築を。●医療・介護・福祉・保育等に従事する皆様への慰労を継続的に。●決議案提案権を活用し、「事業者応援金」を実現。さらなる事業者支援を。●アーティストや市民活動支援のため、納めた個人市民税の1%について、自らが指定する団体へ寄付できる制度創設を(自らの税金の1%の使途を自ら決められる制度)。

【財政改革】●人口類似市に比べて多すぎる市役所職員数は削減を。●市役所人件費問題に関する情報公開を。●多すぎる管理職数を厳しく追及し削減を実現。ふたたび肥大化しないよう引き続き監視。●他市に比べて高すぎる税金(国民健康保険税、都市計画税等)は、減税を。

【庁舎建設】→1面記事をご覧ください。

【福祉】●子育て世代の経済的負担緩和を。義務教育就学児医療費助成の所得制限の撤廃は、中学生にまで拡大を。さらに高校生にまで拡大を。●保育所待機児童ゼロなど子育て環境の充実を。子育て世代に選ばれる街に。●高齢者の方々の健幸寿命を延ばすための政策推進を。●単身世帯に特有な課題に丁寧に寄り添う市政へ。

【環境】●駅前広場、主要道路、中央線高架側道などの緑化を進め、季節感のある街並みへ。●必要な道路は整備を促進。一方、小金井市民の宝である「はけ」と野川、周辺住環境を破壊する都道2路線(3・4・1、3・4・11)新設には反対。

【交通政策・交通安全】●ココバスは現行サービス(運行本数等)を後退させない工夫を。●市内各所で、「止まれ」などの道路標示が消失。すみやかな改善を。●高齢ドライバーの自主的な運転免許返還を促進すべく、返還に対するメリットの付与(ココバス割引など)を。

【生涯学習】●図書館本館及び公民館本館の建て替えに向け、立地などを定める基本計画策定を。

【ごみ問題】●日野市・国分寺市・小金井市の新可燃ごみ処理施設が稼働。次は日野市以外に立地することが3市の覚書に明記されており、ふたたび「ごみ非常事態」とならないよう、今から次期施設に関する検討を。●西岡市長が廃止したリサイクル事業所に代わるリサイクルセンター整備計画策定を(リユース施策を推進する拠点として)。

【防災】●発生から10年が経過した東日本大震災の津波で実家を失った経験を踏まえ、実際に機能する地区別防災計画の策定を推進。感染症拡大下での災害対策、避難所の在り方の検討を。

【駅周辺整備】●大型店が閉店したままになっている武蔵小金井駅北口周辺。適切な内容での再整備で活気あるまちづくりを。●東小金井駅北口土地区画整理事業。交通広場北側の公園の早期開設を図るとともに、区域内のバリケードを早期に撤去し都市景観向上を。

【選挙行政】●東部地域、坂下地域への期日前投票所の設置を求め、実現。庁舎移転後は貫井北町への設置を。駅前(宮地楽器ホール等)にも設置を。

【私自身の政治活動について】●いつもお受け取りありがとうございます。平日朝の駅前ににおける「週刊渡辺大三NEWS」の配布を続けます。●いつも御一読ありがとうございます。年に4回の定例議会ごとに市政の内容をわかりやすく報告する「情報公開こがねいNEWS」の発行を続けます。

渡辺大三の「議会改革」断行プラン 2021

市民に開かれた、働く市議会をめざして

●人口類似市に比べて多すぎる議員定数を削減します(現在は議員定数24ですが、段階的に20にまで削減していきたいと考えています)。民意を踏まえた議員定数とすべく、「議員定数に関する全市民意向調査条例」を議員提案、市長選の際の同時実施をめざします。

●市民からの質問に市議会の全会派が1か月以内に回答するシステムを導入します(市長側は実施済み)。

●市議会が主催する議会報告会の回数を増やします(現状は年1回。これを年4回の定例議会ごとの開催に増やします)。

●市議会と市内諸団体(福祉・環境・教育・文化・スポーツ・女性・農業・商工業など)の意見交換会を開催します。

●年40日程度しか使用されない「議場」は、大会議室と位置づけ、行政利用や市民利用を拡大します。

●市議会HPを充実し、重要テーマに関する解説コーナーを創設します。

●議員から行政への「文書質問」制度を創設し、監視機能を強化します。

この4年間で実現しました!!

◎政務活動費(議員1名あたり月額3万円)の領収証を市議会HPで公表。

◎「こがねい市議会だより」のカラー印刷化。

◎「こがねい市議会だより」の最終ページに「解説欄」を創設。また、一般質問欄に、YouTube動画のQRコードを掲載。

◎参考人招致制度の活用(前回市議選で西岡市長が推薦した候補者による個人情報盗用事件に関して、18年ぶりに実施)。



渡辺大三 profile

◎1966年、岩手県水沢生まれ。秋田県横手市、宮城県仙台市、山形県山形市を経て、1975年、父の転勤に伴い小金井市貫井北町に転入(現在は中町在住)。小金井市立本町小学校・小金井市立小金井第一中学校(桜町)・東京都立小金井北高

等学校(緑町)・中央大学法学部卒業。株式会社河北新報社(本社・仙台市)に就職し、新聞記者。同社退職後、小金井市に戻り衆議院議員秘書。

◎1993年、男性最年少の26歳で小金井市議選に初当選(以降7期連続当選/直近4回の選挙は無所属で立候補)。この

間、議案提案権を積極的に活用し、都内ナンバーワンと報道された情報公開条例、有権者の13%以上の要求で必ず住民投票が実施される画期的な市民参加条例などを誕生させる。また、小金井市役所の高額人件費問題には1期目から現在まで継続的に取り組み、高額な職員手当の引き下げを求める直接請求署名運動に取り組む。さらに、駅前再開発ビルを市庁舎にするというムダ遣い計画に對しては、市民とともに直接請求署名運動を展開。計画撤

回に追い込む(このことにより、現在の庁舎建設予定地が建設場所に決まる)。2020年には議案提案権を活用し、新型コロナウイルス感染症対策基金を誕生させる。

◎現在=小金井市の地域政党「情報公開こがねい」代表、東京の地域政党「自由を守る会」幹事長、小金井市商工会参

与、貫井北町商工振興会(商店会)事務局長、中町親愛会(自治会)相談役、中央大学学員会(同窓会)小金井支部副支部長、東京都立小金井北高等学校同窓会幹事長などを務める。

◎趣味・特技等=剣道二段/フルート(始めて7年ですがまだ初心者) /カラオケ(昭和後期の歌謡曲が好きです) /愛犬との小金井散歩 /身長178cm体重77kg /血液型O型。



脱ムダ
市政を
変える!!



駅前せいたく庁舎に反対する直接請求署名運動。市民の皆さんと連日、駅前や街頭に立ちました。結果として、駅前案は中止となり現在の庁舎予定地が建設地に決まりました。

発行 小金井の地域政党「情報公開こがねい」/ 渡辺大三と脱ムダ改革を進める会
中町事務所(自宅) TEL 03-3345-6929 / FAX 042(381)5074
電話 090(3345)6929 / FAX 042(381)5074
watanabedaizou@gmail.com 【ご意見・ご要望はお気軽に】

東北4県で幼年期を過ごす

小金井一中 在学の頃
伝統の詰襟制服

なかなか上達しません(笑)